

広島大学インキュベーション研究拠点
「本能行動の発現メカニズムに関する総合科学研究推進拠点
—大学生の生活習慣及び科学リテラシーの確立へ向けて—」
第15回 研究セミナー

本研究拠点の目的は、本能行動をはじめとする様々な生命現象を生命科学・健康スポーツ科学・行動科学等の学際・異分野融合的な立場から解明することです。この度、学外から講師の先生をお呼びし、講演を行っていただきます。教員、院生、学部生を問わず多数のご参加をお待ちしております。

【日時】 2017年10月26日（木） 16：20～17：50

【場所】 総合科学研究科 講義室 K202

【演者】 上野勝（広島大学大学院先端物質科学研究科 分子生命機能科学専攻）

【題】 染色体研究-基礎からがん治療への応用まで-

染色体の安定な維持は、がんの予防や老化の防止に必須ですが、染色体がどのように安定に維持され、適切に機能しているのかは十分には解明されていません。本セミナーでは、ライブイメージングとその動態解析によって、染色体機能の新しい側面を発見する試みや、がん細胞に似た特徴を持たせた酵母を用いた新しいがん治療法の開発について紹介していただきます。

【問合せ】 佐藤明子（総合科学研究科 行動科学講座 内線6569）

*本研究セミナーは、総合科学推進プロジェクトの支援を受けています。
また、理系大学院（総合科学・理学・先端物質科学・工学・生物圏科学研究科）の認定科目として開催します。